

iOS アプリ開発体験セミナーの実施報告

○稲尾大介, 山口倫, 仲間祐貴

熊本大学工学部技術部

1. 背景

熊本大学工学部では、情報システム WG で「Android アプリケーション開発・実装体験」を毎年開催しており、毎回一定数の参加者を獲得している。講習会終了後にはアンケートを実施しており、その中で、今後の取り上げてほしいテーマに、「iOS 向けのアプリ講習会」を実施してほしいとの要望が多数あった。そこで、日頃からスキルアップのために iOS プログラミング勉強会をおこなっていたメンバーで、「初心者を対象にした iOS アプリ開発体験セミナー」を行う運びとなった。

2. 「初心者を対象とした iOS アプリ開発体験セミナー」

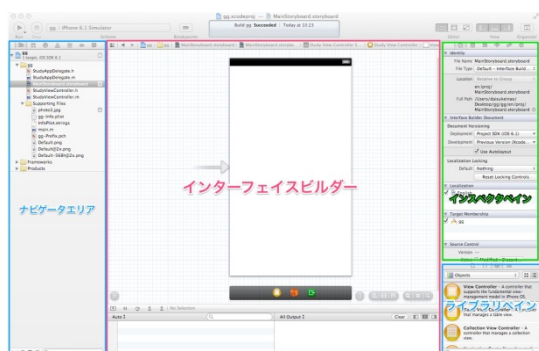
2.1 開催の目的

セミナーは、主にプログラミング初心者やアプリ開発を行ったことがない学生を対象にしており、デジタルなものづくりの楽しさを知る場、アプリ開発に興味のある学生同士がつながる場を提供することを目的とした。

2.2 講習会概要

アプリケーション開発環境には Apple 社が提供している Xcode (=ソフトウェアを開発するためのアップルの統合開発環境) (*図 1, 図 2) を用いた。このソフトは無料でありエディターやコンパイラ、バージョン管理ツールなどが含まれており、これだけで iOS アプリの画面デザイン、プログラミング、Mac 上で動く iPhone/iPad シミュレーターを使ってデバックが行うことができる。

講習会で行った内容は、前半にデベロッパ登録、Xcode のダウンロードなどの開発環境の構築、iOS のプログラミング言語である「Objective-C」を理解する上で欠かせないオブジェクト指向についての説明、次に Xcode の使い方と「HelloWorld」などの簡単なアプリ作成までおこなった。後半からは作成するアプリの実機でのデモを行った後、ビュー、イメージ、ユーザーイベントなどを利用した本格的なアプリの開発を行った。



2.3 講師・受講者

講師：技術職員 3 名

受講者：計 20 名（1 回目：10 名，2 回目：10 名）

情報系学科所属	10 名（学部）
専門域外学科所属	10 名（学部）

合計	20 名（学部）
----	----------

セミナー開催にあたって、工学部の学部生を対象に参加者を募った。前期、後期に各 1 回の合計 2 回開催した。セミナー先着 10 名での開催予定で、案内から 2 日で定員に達し、このセミナーに対する関心度の高さがうかがえた。

2.4 受講環境

今回のセミナーでは基本的には参加者に Mac を持参してもらう形をとったが、貸し出し用として Mac を 5 台準備した。Mac の OS は持参用も含め MacOSX Lion 以降のバージョンとした。事前の準備として Mac 所持者には最新版の Xcode のインストールを行ってもらい、セミナーで使用する素材（画像やサウンドファイル）を共有するためにクラウド環境である「DropBox」をインストールしてもらった。

2.5 アンケート

セミナー終了後に参加者にアンケートを実施した。非常に勉強になることが多く、これからのアプリ開発に役に立った、少人数でのセミナーだったので質問がしやすかったなどの意見を多数頂いた。また、レベル別のソフトウェア利用セミナーなどがあるといい、複数回にわけてもっと複雑なものを作ってみたい。などの声もあり、iOS アプリ開発に対する関心の高さを改めて実感した。

3 まとめ

今回、「初心者を対象とした iOS アプリ開発体験セミナー」を工学部の全学科の学部生を対象に開催した。アプリケーション開発未経験者、プログラミング未経験者でも受講できるように、オブジェクト指向プログラムについての学習から始め、Xcode を用いたオブジェクト指向プログラミング、後半からはその発展版として本格的なアプリケーションの作成を行った、専門外である情報系以外の学生からも多くの参加希望があり、アプリケーション開発を楽しく体験してもらうことができたと思われる。

今後も学生たちのアプリケーション開発に対する興味・関心はますます高まってくると思われるので、アプリケーション開発セミナーの開催を検討していく予定である。

